

防 災 フ ェ ィ ーズ		名 称：市立大洲病院 防災タイムライン『訪問看護』		(第1版 2019.12) 策定・更新：市立大洲病院災害対策チーム		だれが		各部門に必要な固有で細分化された『各部門編タイムライン』は、本紙を雛形に各部門で策定する。							
策定目的：当院の患者と職員の安全確保 および 施設の被災を最小限にして医療行為を継続するため		対象災害：暴風、大雨、河川氾濫		被災想定：建物への浸水、道路冠水などによる孤立		いつ (OR条件)		なにを (誰でもわかる明確な内容、同一フェーズ内は順不同)							
フェーズⅠ	気象庁の 警戒レベル2 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報 ・はん濫注意報	台風が集中豪雨 ・発生 ・接近予測の 72～48時間前	河川の状況 【はん濫注意水位】 ・大洲第2水位観測所 の水位 3.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する	情報	気象情報、ダム放流情報の確認 (以後、定期的に継続)	●								
				情報	近隣河川の水位を確認 (以後、定期的に継続)	●									
				関連部門	利用者の訪問日延期検討		○								
				関連部門	利用者の入院受け入れ検討 (レスパイト入院)		○								
関連部門	利用者へ医療物品・衛生材料等の残数確認		○	物品確保まで発注後数日かかることを念頭におく											
フェーズⅡ	気象庁の 警戒レベル3 ・大雨警報 ・洪水警報 ・高潮注意報 (警報切替の可能性あり) ・はん濫警戒情報	台風が集中豪雨 ・進路上にあり ・接近予測の 48～24時間前	河川の状況 【はん濫危険水位 (無堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位 4.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する	情報	通行止め等の道路状況を確認 (以後、定期的に継続)	●								
				情報	大洲市危機管理課と情報共有 (以後、継続)	●									
				情報	他院と救急体制を確認 (被災した場合の連携など)	●									
				情報	停電時非常時の外部連絡先を再確認	●									
				モノ	防災備品の在庫確認	●		目的：職員の安全確保、施設の保全、医療機器の保全 (懐中電灯・電池、ヘルメット、カムテープ、軍手、防水テープ、水密用ビニール袋 etc.)							
				関連部門	担当医へ状態報告し指示確認		○								
				関連部門	利用者へ訪問延期決定連絡		○								
				モノ	利用者へ医療物品・衛生材料等の残数確認、衛生材料等の受け渡し		○								
				関連部門	レスパイト入院患者の前倒し受け入れ検討		○								
				関連部門	優先業務の検討・決定		○								
				関連部門	管理料算定患者の状況確認		○	在宅療養指導料、糖尿病療養指導料、がん治療連携管理料、在宅自己注射指導管理料、在宅酸素療法指導管理料、在宅慢性疼痛等患者指導管理料、在宅自己導尿自尿指導管理料、在宅自己腹膜透析指導管理料、在宅酸素療法指導管理料、在宅呼吸器指導管理料、在宅気管切開患者指導管理料							
				関連部門	近隣病院、公共施設、居宅介護支援事業所、施設等と情報共有 (受診状況、サービス利用状況など)		○	ケアマネ等とサービスの利用状況確認、情報共有する							
				情報	避難勧告地域の利用者の避難所確認		○								
				情報	利用者への防災対策確認 (ライフライン)		○								
情報	タイムラインの再確認		○												
フェーズⅢ	災害発生への恐れ (台風・豪雨の接近が休日・深夜) があれば 業務と並行して「仮設置」する 気象庁の 警戒レベル4 ・土砂災害警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫危険情報	台風が集中豪雨 ・接近中 ・接近予測の 24～12時間前	河川の状況 【はん濫危険水位 (有堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位 5.8m	災害対策本部《仮》設置					《仮》災害対策本部は、1階事務課に設置						
				本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○							
				本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●	○	外来患者の早期帰宅を促す (貼紙や放送で広報) 面会者への同様の対応						
				本部	時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (ホワイトボードまたはPC、紙ノートでも可)	★	●		緊急時の情報管理方法 (ふりかえりにも活用)						
				ヒト	災害対策本部《仮》設置時点の、医師を含む全職員の勤務調整(1) とりまとめ担当：事務課 (正式設置の際の準備として)	●	○		目的：災害対策本部を設置する前の段階で、予備的に行う (各部門で勤怠表、帰宅困難者、通勤困難者、通勤経路など調査する)						
				モノ	ラジオ、防災無線など最低ラインの通信手段が使えるか確認 (電池)	●			目的：電話とネットが使えない際の情報収集への備え						
				モノ	屋上、階段室の確認	●			目的：浸水時、屋上から救出される場合、屋上に安全に避難できるか? 屋上は安全か? など確認						
				モノ	全ての窓を施錠、カーテンやブラインドを閉める	●	○		目的：暴風などで窓ガラスが破損した時の飛散防止のため (他部門も協力)						
				モノ	ベランダや窓の下に動かせるモノがあれば撤去	●	○		目的：暴風対策 (他部門も協力)						
				モノ	屋外の備品撤去	●			目的：暴風対策 (案内板、カラーコーン、傘立て等)						
				モノ	非常用電源の作動確認	●			目的：停電対策 (電源必須の機器は赤コンセントに接続)						
				モノ	充電できる機器は充電する (院内PHS、携帯電話も含む)	●	○		目的：停電対策						
				モノ	PCと周辺機器のケーブルに、外しても戻せる目印をつけ、写真を撮る	●	○		目的：退避したあとの復旧時に再配線が混乱しないため						
				防水	「水囊」準備①ビニール袋②水囊マップ③分担	★	●	○	事前作成した「水囊マップ」を参照する						
				停電	訪問専用携帯電話の充電			○	利用者からの連絡に対応できるように						
				関連部門	利用者の避難状況確認、安否確認			○							
				フェーズⅣ	災害レベルが上がる恐れがあれば、正式に設置する 気象庁の 警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・何らかの被災が 確実 ・接近予測の 12～6時間前	河川の状況 【はん濫危険水位 (有堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位 5.8m	災害対策本部《正式》設置					災害対策本部は、1階事務課から3階講堂に移動 本部用ホワイトボード準備		
								本部	災害対策本部設置時点の、入院患者、職員数の把握を指示	★	●	○	目的：孤立した場合の飲料水、食料、トイレ、水タンク貯水量などの試算のため		
								本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○			
本部	ホワイトボードに時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (以後、継続)	★	●						緊急時の情報管理方法 (ふりかえりにも活用)						
本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●					○	外来患者の早期帰宅を促す (貼紙や放送で広報) 面会者への同様の対応						
本部	「災害対策本部設置」を職員向けにメールで周知 (以後、必要に応じてメール送信)	★	●					○							
ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(2) とりまとめ担当：事務課	★	●					○	目的：災害発生時に職員招集などに支障があるヒトを確認する						
ヒト	必要に応じ、屋内託児への切替を検討 (職員の動意と連携)	★	○					○	臨時の院内保育所は4階に開設する						
モノ	近隣丘陵地のフラワerpark駐車場の使用許可を取り、敷地内駐車場の車を移動するアナウンスをする	★	●					○	目的：洪水対策						
防水	①水囊を作成 ②分担して水囊マップの位置に置く	★	●					○	事前作成した「水囊マップ」を参照						
防水	1階の各部屋のコンセントを防水テープでシール	★	●					○	出入口を最後に防水する						
防水	各装置の電源を切る		○					○							
防水	ケーブルに目印を付けたPCと周辺機器をデスク上へ退避	★	●					○	目的：退避したあとの復旧時に再配線が混乱しないため						
防水	移動できない機器がある部門の防水対策		●					○	防水テープで部屋のドア、コンセントをシール						
防水	各部門の重要な医療機器を退避		○					○	3階講堂へ退避する。						
防水	移動可能な医療機器を3階以上の階へ移動する							○							
防水	土嚢・水囊を設置マップにそって設置							○							
防水	外来にある車椅子、歩行器、待合室のいすを移動 (移動できなければ固定)							○							
防水	移動不可の医療機器の防水対策							○							
フェーズⅤ	気象庁の 警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・最も接近	河川の状況 ・久米川堤防の越水 ・筋川の堤防決壊					この行は使用せず、この下に新規行を追加する	モノ	敷地内、建物内の被害状況の確認	★	●	○		
				モノ	建物が孤立 または 帰宅困難者がいる場合：職員の見守り (待機室) の確保と周知	★	●		休憩室は、各病棟の空き病室または2階休憩室						
				停電	自家発電の有無を確認、貯水タンクが使用できるか確認	★									
				停電	医療機器の電源確保の優先順位に従い、電力事情によって切り分ける内容を再確認 (以後、電力事情によって対応する)	★	●	○							
				停電	【停電】または【停電に備え】エレベータ使用制限	★	●								
				断水	屋上貯水タンクの浄水を計画的に使用するため、節水の周知 (貼紙設置)	★	●								
				断水	トイレ用タンクの水を計画的に使用するため、トイレ使用制限 (貼紙やロープ設置) ※1階トイレと各階和式トイレは使用禁止	★	●								
				ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(3) とりまとめ担当：事務課	★	●	○	目的：災害発生時に職員招集などに支障があるヒトを確認する						
				ヒト	常勤医師、非常勤医師の動意と移動手段の確認	★	●								
				ヒト	職員の安否確認 (全体または部門単位で)	★	●	○							
				関連部門	入院患者、職員を含めて非常食の切替え	★									
				情報	救急輪番病院の被害状況を確認	★	●								